

Monthly Pickup Topics

MONTHLY PICKUP TOPICS 3.19

肥後大津駅に「くまモンベース」誕生！

肥後大津駅南口の町ビジターセンターにくまモンベースがオープンしました。「くまモンベース」は、県の「くまモンランド化構想」の一環で肥後大津駅周辺地域活性化事業実行委員会と町が設置したもので、モノづくりが大好きなくまモンの「秘密基地」をイメージしています。赤と黒のくまモンカラーの机や椅子、くまモンの写真や本田技研工業(株)のバイク「モンキー」のくまモンバージョンなどを展示したことで、町ビジターセンターがくまモンを感じられる場所へ生まれ変わりました。さらに「くまモンベース」のロゴ「KB」の入った特別衣装を着たくまモンのモニュメントが出迎えます。

オープニングセレモニーでは、同会岩永洋典会長が「くまモンベースをきっかけに、地域の魅力を皆さんに知ってほしい」と挨拶、実際にくまモンも特別衣装を着て登場し「くまモンベース」誕生を喜んでいました。くまモンベースは誰でも入ることができます。ご来場ください。



①肥後大津駅周辺地域活性化事業実行委員会岩永会長あいさつ②ビジターセンター前でオープニングセレモニー③④ビジターセンター内の「くまモンベース」⑤くまモンのモニュメントを囲むくまモンとからいもん

MONTHLY PICKUP TOPICS 3.23

新たな空の玄関へようこそ

～阿蘇くまもと空港、新旅客ターミナルビルオープン～

令和3年の1月着工以来、約2年にわたり工事を進めてきた阿蘇くまもと空港の新旅客ターミナルビルが遂に完成しました。この新しいターミナルビルは、熊本地震で被災した経験を踏まえ、大地震などに耐えられる構造で、複数の変電所から電気を受けられるよう受電系統の多重化を図りました。さらに72時間供給を持続する非常用発電機も備え、安全安心な建物へと進化しました。国内・国際線のネットワークを拡充し、様々な食物販エリアを備えた新旅客ターミナルビル。「世界と地域にひらかれた九州セントラルゲートウェイ」として、飛行機の利用者はもちろん地域にもひらかれた空港として新たな一歩を踏み出します。3月23日の供用開始に合わせ、当日は早朝からテープカットが行われ、熊本県の営業部長兼しあわせ部長のくまモンもお祝いに駆け付けました。



①到着ロビーでは熊本・九州観光を快適にするための各種サービスが提供されます。②新しくなった旅客ターミナルビルは県産木材が使用され、デザイン性の高い空間となっています。③阿蘇くまもと空港新旅客ターミナルビル供用開始セレモニーでは熊本県蒲島郁夫知事やくまモンなどの多数の参列者が供用開始を祝いました。

民間企業のノウハウを生かして 町内スポーツ施設のサービス向上を図ります

●問い合わせ 役場生涯学習課 生涯スポーツ係 096(293)2180

町内スポーツ施設において、高いレベルで管理運営を担う指定管理者を公募し、外部有識者を含む選定委員会^{※1}、共同企業体^{※2}「大津つなぐプロジェクト」が選定されたため、大津町議会での議決を経て、令和5年4月1日より、指定管理者^{※2}による管理運営が開始されます。

大津つなぐプロジェクト

大津つなぐプロジェクトは、町内企業2社を含む、専門的ノウハウを併せ持った5団体構成による共同企業体で、国内公共スポーツ施設59施設のほか、民間スポーツ施設、健康増進施設、介護リハビリ施設に至るまで、幅広い実績を有しています。

代表企業である株式会社ルネサンスは、人生100年時代を豊かにすることを理念としている健康ソリューションカンパニーで、現在、国内外186施設の運営実績を有するスポーツ施設運営のエキスパート企業です。



※1 複数の団体が共同して特定の事業を営むことを目的に結成された事業組織。
※2 公共施設の管理・運営を、地方自治体が指定する民間事業者。民間のノウハウを活用し、住民サービスの向上と経費の削減、行政の効率化を図る。



管理者が町から共同事業体に変わることでどうなるの？

施設予約方法や受付手順は、これまでと同様です。また、令和5年度中に、大津町総合体育館内トレーニングルームの時代に合わせたリニューアルを予定しており、現在、午後5時までとなっている日曜・祝日の閉館時間も延長される予定です。

今後、住民の皆さんが利用しやすいようにサービスの向上・改善を目指していきます。